

世代を超えて伝えよう 平和への願い

市では、核兵器の廃絶や恒久平和を願い、2つの平和都市宣言を行っています。また毎年、平和のシンボルである折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」を実施しています。

平和都市宣言のまち

わが国は世界で唯一の核被爆国です。昭和20年8月に広島・長崎へ投下された原子爆弾(原爆)は、一瞬にして多くの人の命を奪い去りました。

世界各地では、現在も紛争や国際テロが発生しています。また、核兵器の保有を続ける国があるなど、依然として核兵器の大きな脅威が存在します。

市は、非核三原則(日本は核兵器を持たず、作らず、持ち込ませ

ず)が完全実施されることを願います。

平成7年2月21日に「非核平和都市宣言」をしました。

また、昭和33年10月31日には、自ら永遠の平和都市となることを決意し「世界連邦平和都市宣言」をしています。

戦争体験を伝える活動

小学生への平和啓蒙

戦争を知らない子どもたちに平和の尊さを学んでもらおうと、市内の小学校で平和啓蒙事業を行っています。

昨年は4校で成田市平和啓蒙推進協議会による平和映画の上映や、戦争体験者による講話が行われました。

被爆写真展

平和の尊さと核兵器の廃絶をテーマに、原爆投下直後の惨状を記録した写真パネルが展示されます。

会場と日時

○市役所1階ロビー…8月2日(金)まで午前8時30分～午後5時

○イオンモール成田イオンホール
…8月7日(水)～14日(水) 午前10時～午後10時

○スカイタウンギャラリー…8月17日(土)～29日(木)(19日(月)・26日(月)は除く) 午前9時～午後5時

折り鶴平和プロジェクト

市では、市民が手作りした折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」を平成21年から実施しています。これまでに市に寄せられた折り鶴は約133万羽に達しました。

今年も、市内11中学校の生徒の手で折られた鶴をはじめ、市民の皆さんから数多くの折り鶴が寄せられ、高齢者クラブなどのボランティアによって千羽鶴に束ねられました。

折り鶴平和使節団

市では折り鶴平和プロジェクトの一環として、市内11中学校のそれぞれの代表生徒で結成される「折り鶴平和使節団」を被爆地へ派遣しています。

今年度は昨年度に引き続き広島を訪問します。団員たちは、平和記念式典への参列や同世代の生徒たちと平和学習プログラムへ参加するなどの貴重な体験を通して、平和の尊さ、戦争の悲惨さ、そして核廃絶の必要性を学びます。派遣後は、その貴重な体験を、

同じ学校の生徒をはじめ、多くの市民の皆さんに広め、平和に対する意識の高まりをつくることを期待されます。

10月27日に活動成果を発表

広島を訪問した中学生が活動の成果を発表する「成田市折り鶴平和使節団広島訪問報告会」が10月27日(日)にスカイタウンホールで開催されます。

団員一人一人から、写真や映像とともに活動内容や広島訪問についての報告が行われます。

※くわしくは文化国際課(☎20・1534)へ。

折り鶴平和使節団 団員紹介

- 高仲さん(成田中学校)
- 白戸さん(遠山中学校)
- 長谷川さん(久住中学校)
- 栗原さん(西中学校)
- 荒木さん(中台中学校)
- 日野さん(吾妻中学校)
- 姜希さん(玉造中学校)
- 松下さん(大栄中学校)
- 菊地さん(公津の杜中学校)
- 大屋さん(下総みどり学園)
- 加藤さん(成田高校付属中学校)



今年度の団員の皆さん



思いを込めた折り鶴を手渡す